

「メディア教育研究」(第3巻第2号)の刊行に当たって

平成16年4月に独立行政法人に移行したのを機に刊行を始めた「メディア教育研究」では、学術研究誌として、多様なメディアを高度に利用して行う教育とその研究開発に関する学術研究上の成果を、論文、研究資料、研究開発速報などとして掲載しております。

このたび、創刊以来3年目を迎え「メディア教育研究」(第3巻第2号通巻6号)を刊行いたしました。この号では、「e-Learningにおける高等教育機関の質保証への取り組み」を特集テーマとしており、このテーマに関する5件の招待論文を掲載することができました。e-Learningが世界的に普及している中で、その質保証は世界規模で取組まれている非常に重要な課題となっております。国内における今後の普及に先んじて、本号では、これらの実践を国内で先導している高等教育機関における取り組みを紹介すると共に、先導的にe-Learningを進める海外の評価認定機関と高等教育機関の活動内容について紹介しております。e-Learningを実践する多くの読者にとって参考になる内容であると思います。

また、本号には、投稿された原著論文として1件、研究資料として6件、及び研究開発速報として2件掲載しております。これらをご覧いただきわかりますように、この「メディア教育研究」が多様なメディアを高度に利用して行う研究とその研究開発に関する学術研究誌として認められつつあります。これは、この分野の関係者のご関心の高さにご協力、ご支援のお陰と感謝しております。ご寄稿いただいた方々をはじめ関係者に厚くお礼申し上げますとともに、様々な分野でこのような課題に関わる読者の方々に参考となれば幸いです。

本センターとしましては、今後もこの「メディア教育研究」の刊行とその充実を図りたいと考えております。様々な研究成果の公表の場として利用していただき、教育・研究者が研究成果を共有することによって、この学術研究誌が我が国の教育改革の一端となることを願っております。今後もより多くの研究者が投稿されると共に、より多くの読者に利用されることを期待しております。

今後ともどうぞよろしくご支援賜わります様お願い申し上げます。

平成19年3月

独立行政法人メディア教育開発センター
理事長 清水 康 敬